※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書道Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・継続して使用する書道用具・用材をさらに工夫して使うことにより、より多様な書表現の実現を図ります。
・書く言葉と書表現との関係をより積極的に考えるための学習方法と学習機会を提供していきます。
・「書道Ⅱ」の学習をとおして、生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになって欲しいと思います。

２　学習の到達目標

・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。（知識） ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。（技能）	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ガイダンス・書道Ⅰの確認	授業を受けるに際して 確認プリント ①　平仮名筆順 ②　平仮名字源漢字 ③　カタカナ筆順	a:【知】用具・用材の特徴と表現効果との関りについて理解している。 【技】目的や用途に即した効果的な表現、楷書と仮名や行書と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。 b:書道Ⅰで学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子
	漢字の書	一　草書の学習 草書の美 ■書譜 ■十七帖 ■自叙帖 ■国申文帖	a:【知】草書を構成する様々な要素、草書の古典の特徴と用筆・運筆について理解している。 【技】草書の古典に基づく効果的な表現、草書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:書道Ⅰの学習を踏まえ、草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 草書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:草書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

		二　隷書の学習 隷書の美 ■礼器碑 ■張遷碑 ■開通褒斜道刻石 ■居延漢簡	a:【知】隷書を構成する様々な要素、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】隷書の古典に基づく効果的な表現、隷書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:書道Ⅰの学習を踏まえ、隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:　自身の表現の意図に基づく表現、隷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子
		三　篆刻・刻字の学習 印の歴史と用法 創作―落款印を刻そう― １　選文・検字 ２　印稿作成	a:【知】印や刻字を構成する様々な要素、印や刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】印の古典に基づく効果的な表現の技能、印や刻字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:　書道Ⅰの学習を踏まえ、印や刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:　自身の表現の意図に基づく表現、印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

二学期	漢字の書	三　篆刻･刻字の学習 創作―落款印を刻そう― ３　布字 ４　運刀 ５　押印･補刀 鑑賞―篆刻の美や風趣を味わおう― 創作―表札を彫ろう―	a:【知】印や刻字を構成する様々な要素、印や刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【知】印や刻字の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の印の伝統と文化、印の特質とその歴史、印や刻字の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 【技】印の古典に基づく効果的な表現の技能、印や刻字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b: 書道Ｉの学習を踏まえ、印や刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 歴史的な印や刻字の価値とその根拠について考え、印や刻字のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、印や刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 印や刻字のよさや美しさを甘受し、印や刻字の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 提出作品	 ワークシート 提出作品	 活動の様子 ワークシート 活動の様子

※令和４年度以降入学生用

		四　篆書の学習 篆書の美 ■石鼓文 ■甲骨文 ■大盂鼎	a:【知】篆書を構成する様々な要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、篆書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b:篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:　自身の表現の意図に基づく表現、篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート	提出作品	活動の様子
	仮名の書	仮名の書 仮名の美―古今和歌集に見る展開― 仮名一覧表―平仮名・変体仮名― ■連綿	a:【知】仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 【知】仮名の書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 【技】仮名の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b:仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:　自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

		仮名の書 ■高野切第一種 ■本願寺本三十六人歌集（石山切伊勢集） ■針切	a:【知】仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 【知】仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 【技】墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付けている。 b: 書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 仮名の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: ・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 提出作品	提出作品 ワークシート	活動の様子 ワークシート 活動の様子

※令和４年度以降入学生用

		行書きの美―曼殊院本古今和歌集― 散らし書きの美―寸松庵色紙― 創作―小倉百人一首を書こう― 鑑賞―書の美や風趣を味わおう―	a:【知】仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 【知】仮名の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】仮名の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 b: 書道Ⅰの学習を踏まえ、仮名の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 提出作品	提出作品	活動の様子
三学期	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書 古典を生かした表現 自分の意図に応じた表現 言葉と書の調和	a: 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 b:書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート 活動の様子	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

		創作―心に響いた言葉を書こう― 鑑賞―書の美や風趣を味わおう― 書で発信しよう 心に触れる手紙	a:【知】漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 【知】漢字仮名交じりの書の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 【技】目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。 b:書道Ⅰの学習を踏まえ、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート ワークシート 提出作品	提出作品 提出作品	活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度